

## △バフセオ錠 [内]

【重要度】	【一般製剤名】バダデュスタット Vadadustat	【分類】腎性貧血治療薬 [HIF-PH 阻害薬]
【単位】	△150mg・△300mg/日	
【常用量】		
■開始用量：	1回300mg	
■増量は	150mg 幅で4週間以上の間隔をあける	
■休業後の再開は	150mg 減で実施	
■最大	600mg/日	
【用法】	1日1回■多価金属イオンにより吸収が低下するので、前後2時間以上あける	
【透析患者への投与方法】	常用量 (1)	
【PD】	平均維持投与量のめやすとして ESA 使用時 Hb 11g/dL 以上なら 300mg, 11g/dL 未満なら 450mg/日 (Nangaku M, et al: Ther Apher Dial 2020 PMID: 33283981)	
【保存期 CKD 患者への投与方法】	常用量 (1) フロセミドの血中濃度が上昇することに注意 (5)	
ダルベポエチンと比べて MACE において非劣勢性を示せず (グローバル フェーズ3) (1)		
【特徴】	HIF-PH 阻害薬。保存期、透析期の腎性貧血に適用。	
【主な副作用・毒性】	血栓塞栓症、肝機能障害、高血圧、消化器症状、皮膚症状、めまい、動悸、傾眠など。	
鉄利用が促進されるので鉄状態を評価する。		
【安全性に関する情報】	MACE についてダルベポエチンに対して非劣勢性を示さず (PROTECT 試験)	
【モニターすべき項目】	Hb、鉄状態、血栓塞栓症の発症、血圧、網膜症の管理	
【吸収】	食事により主に Cmax が低下する傾向があるが、AUC の低下はわずかであり、臨床問題とならない (1)	
【F】	75%以上 [animal] (1)	
【tmax】	1.5～2hr (1)	
【代謝】	グルクロン酸抱合 [UGT1A1, 1A7, 1A8, 1A9 (主)] で代謝 (1) 血中には未変化体 75%、O-グルクロン酸抱合体 15%の順に多く、糞便中には脱グリシン体が多い (1) CYP の寄与は小さい (1) 肝・腎では O-グルクロン酸抱合体 (UGT1A1, 1A7, 1A8m1A9)、腸管ではアシルグルクロン酸抱合体 (UGT1A1, 2B7) が生成 (1) O-グルクロン酸抱合体には PHD2 阻害活性があるが、IC50 は未変化体の 195 倍と弱い (1)	
【排泄】	尿中未変化体排泄率 1%未満 (1) 尿中回収率 58.9% (1) 尿中回収物はほとんど O-グルクロン酸抱合体 (1) 糞便中への排泄物は脱グリシン体が優位 (1)	
【CL/F】	1.2L/hr (1)	
【t1/2】	6hr (1)	
【蛋白結合率】	99%以上 (1)	
【Vd/F】	10L/man (1) 血球へはほとんど移行しない (1)	
【MW】	306.70	
【透析性】	除去されない (1)	
【OW 係数】	LogP=3.34 (1)	
【相互作用】	OAT1, OAT3 の基質、BCRP, OAT3 を阻害 (1) 代謝物の O-グルクロン酸抱合体は OAT3 の基質で阻害剤 (1)	
BCRP 基質のスタチン (特にロスバスタチン、シンバスタチン)、SASP (SP が上昇) の血中濃度上昇 (1) OAT3 の基質薬剤のフロセミド、MTX の血中濃度上昇 (1)		
鉄剤とキレート形成して、吸収が低下する可能性 (Kokado Y, et al: Clin Ther 2021 PMID: 34511184)		
【肝障害患者への投与方法】	PK はほとんど変化しない (Chavan A, et al: Clin Pharmacol Drug Dev 2021 PMID: 33661566)	
【小児 CKD 患者における報告】		
【妊婦・授乳婦への投薬】		
【主な臨床報告】	HD 患者においてダルベポエチンに非劣勢 (Nangaku M, et al: Nephrol Dial Transplant 2021 PMID: 33650630)	
前臨床データ (Zuk A, et al: J Pharmacol Exp Ther 2022 PMID: 35926869)		
phase3 試験 (Nangaku M, et al: Ther Apher Dial 2021 PMID: 33283981)		
【更新日】	20250506	

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。